

今回は、「ナツノコマツリ」の報告です。

◇ 第3回「本町探偵団」の活動報告です！

「ナツノコマツリ」。これは、今年の7月24日、25日に「せきてらす」で行われたイベント名です。このイベントの一企画として私たち本町探偵団は、3回目となる謎解きイベントを運営しました。まず本町探偵団の活動目的を改めて確認しました。本町探偵団の活動目的は、「親子が楽しみながら地元の（関市）の伝統、場の良さ、新しい取り組みに興味を持つきっかけ作り」です。次に、「夏×刀」をテーマに問題を作成しました。今までは問題の難易度やコンセプトを気にしていなかったのですが、今回は大きなテーマを決めたことで一体感を出すことが出来ました。また、新たな試みとして、参加費を設定してみました。印刷費や、消耗品代として経費が掛かり無料では運営していくのが難しくなったためです。



本町探偵団のメンバー

◇ 「本町探偵団」メンバーの感想

今回は、せきてらすという以前とは違う限られた空間でイベントを行いました。そのため私たちスタッフはヒントを出しに行きやすく、参加者も謎解きでまわったり質問をしたりしやすかったのではないかと思います。

嬉しかったことは、謎解き目当てで来てくれた人が少なからずいたことです。小学生の兄弟が来て、謎解きを終えた後に、「これは定期的に行っているの？」と聞いてくれて、次は冬ごろにあることを伝えたら「絶対行く～」と言ってくれました。また、1日目の最後に女の子2人組がお金を握りしめて来てくれたことが嬉しかったです。時間の関係もありヒントを出しつつ一緒にまわったら、「解けた！」という瞬間に立ち会えて自分の作ったなぞを解いてもらえる喜びを感じました。

また本町探偵団の活動を知ってもらえるきっかけができたのが良かったです。メンバーのひとり、加藤姫奈さんがつくってくれたチラシを見て、次のイベントに来てくれる人、リピーターが増えたら良いなと思います。

さらに、今回お金をもらうことで、その分の価値をつけなければ、と意欲がわきました。反省点は、“中途半端だったこと”だと考えます。準備がギリギリまでかかってしまい、段取りが悪かったです。今までは他に子ども向けイベントがありませんでしたが、今回は水風船イベントが開かれており惨敗しました。また、限られた空間ならではの、多目的ホールでイベントが始まると人が流れてしまいました。前回と同じ構えではダメで、イベントに合った売り込み方があることを学びました。謎解きならではの魅力をもっと全面に押し出せばよかったと思います。

参加者競争だった今回だったら、もっと他のお店を出していた人と仲良くなり協力し合うなど、自分のお店のことだけでなくみんなでもっと売り上げ上がったと思います。

入り口の扉の前を飾ったのにもかかわらず、意外と存在感がなかったことが残念でした。すぐ隣に受付があるのに、水風船のカウンターに「謎解きどこですか」と聞いている人がち

らほらいました。受付が入り口と垂直だったのが原因と考えます。チラシも、もっと貼ってアピールすればよかったかもしれません。

また、受付の流れをもっとはっきりすべきだったと思います。ワチャワチャしてしまい後藤くんが作ってくれたチラシを全然紹介できませんでした。頑張った仕事を見てもらう機会がなかったのが悔しいです。金銭的余裕があったら、両面印刷して配るとよかったです。

(2年 繁ユリ子)



今回は初めて参加費を設けました。お金を貰うことで参加する人が減るのではという不安がありました。が、せきてらす内のイベントの一つということもあり予想以上に多くの人に参加してくれて嬉しかったです。ダマスカス鋼などに興味を持ってくれる子もいて刃物について知るきっかけを作れた気がします。また、大人の方に交じって出店したので少し背伸びをしましたが、高校生という特別な要素を全面にアピールし、必死さや子供との年が大人よりも、近い立場を生かして物事を考えることなど途中から、今しか出来ないという部分を大切にすることでいろんな人の目を引くことが出来たと思います。これからも高校生ならではの視点をどんどん活用していきたいです。

改善点はチラシのわかりにくさです。一目見て謎解きだと分かるチラシを作りたいです。



(2年 兼村古都実)

<成果> 私が思う成果は参加費込みでもお客さんの反応は変わらず楽しんでくれたことだと思います。また、「謎解きイベントしたくて来ました！」という感じの方もいてとてもうれしかったです。室内で他のブースもたくさんあったので自分たちもナツノコマツリを楽しみながら接客できました。大人の方は少し難しい解答の言葉を教えると、「あー、それね！」と納得したような反応をしてくれたり、解答解説を熱心に読んで関市の刃物について知れたという方もいたりして「刀」というテーマを決めたことが良かったなと感じました。

<課題> 案内ブースの場所が分かりづらかったです。目をつけてパッとイベントしているということが分かるようにしたいです。時間があまりなく準備が不十分でした。あまりみんなが集まらず、作った資料の紹介の仕方や対応の流れがあやふやでした。対象が小学生というところに縛られている人が多かったです。時間がかかるイメージがあるのか興味は持ってくれても断られることも何度かありました。もっとチラシの配り方を工夫しないといけないと思いました。作った問題の難易度は前よりもいい感じだと思ったが、どうやったらもっと多くの方来ていただけるか話し合っ時間をかけて準備をしたいと思っています。

(2年 加藤姫奈)



良かった点は、参加費ありでも多くの人が参加してくれたし、親と子供と一緒に話し合いながら問題を解く姿や楽しそうに回る姿が見られたことです。また前回よりも関について知ってもらえるような工夫ができたことです。

課題は、子どもが中心で大人があまりきてくれなかったこと、対応などで少しバタバタしてしまったことです。

景品を、もっと関市にかかわるものしてみたいです。

(1年 後藤和真)



◇ 「本町探偵団」メンバー募集中！

本町探偵団とは？

現在、関高校の1、2年生の4人で活動しています。関市内の親子が地元の「伝統」「場の良さ」「新しい取り組み」に楽しみながら興味を持つきっかけ作りになるといいなとイベントを開催しています！これまで、謎解きイベントは春休みとGWに行い、どちらも100人を超える方が参加してくださいました。12月には「お寺巡りマルシェ」にも参加予定です。興味のある方はぜひご参加ください！！

